

LAUGHIN' DOLPHIN TRIP!

日程：2022年 5/20 (金) ～22 (日)

集合① 21:00 東京竹芝桟橋 第一待合所

	21:30 竹芝桟橋集合	直近コンビニ激混みなので時間には余裕をお持ちください（船内での宴会用や翌朝食をお忘れなく）	
1日目	22:30 竹芝桟橋発	ベイブリッジ見ながらかんぱーい！	夜 ×
2日目	6:00 御蔵島着	ドキドキの瞬間・・・	朝 ×
	イルカ (2セッション)	1セッション移動時間含み2時間ほど。 途中昼食を挟みます。	昼 ○
	7:00 イルカ (1セッション)	オプション	夜 ○
3日目	19:40 竹芝桟橋着	着後解散です。お疲れ様でした！	朝 △
			昼 ○

スケジュールは現地の状況で変更する場合がございます。ご了承下さい。

御蔵島

東京から南へ200km、周囲約16km、信号機0、コンビニ0、人口300人、イルカたち約120頭の小さな島。「沖で見た時や鬼島と見たが」と島の唄に歌われるように人を寄せ付け難い断崖絶壁の島になりました。黒潮に乗って運ばれてくる暖かい空気は、島に当たって雲になり沢山の雨を降らせず（年間降雨量は東京の約3倍）。栄養豊富な海には魚が集まり、それを食べに海鳥が集まります。中でもオオミズナギドリは御蔵島が世界最大級のコロニーになっています。そして良質なフンが土壌を豊かにし、深い森と多くの巨樹を作り出しました。深く陰しい山々が大量の水を蓄え、栄養豊富な土でろ過された水は、空から落ちてきた時以上の栄養を蓄え海へと帰っていきます。そうして島の海はさらに豊かになるのです。

屋久島に匹敵するとも言われる程の原生林には日本一大きい「スダジイ」と呼ばれるシイの木があったり、島としては珍しく池があり川もあって滝が流れている豊潤な森がうっそうと島全体を覆っています。ツゲの産地としても有名で、昔から御蔵の「ツゲ細工」は高級品として島の経済を支えていました。日本のほとんどの島は慢性的な水不足に苦しめられたりしているのですが、御蔵島は水が湧き出ている島なのです。御蔵島の水はとってもおいしくて「御蔵の湧水」としてペットボトルで売られています。

「来てみりゃ御蔵は情け島」と歌われるように、300人という少ない島民は昔から助け合いながら生きてきました。嬉しい事も悲しい事もみんなで分かち合いながら育んできたこの村には、他には無いのんびりとした暖かな空気が流れています。

都会の喧噪を離れ、大自然の中でのんびりスローライフを楽しみましょう。ちょっと不便なこともあるけれど必ず素敵な思い出となって残るはずです



【御蔵島について】

東海汽船の船の大きさに比べて御蔵島の港は非常に小さく、かつ島に港が一つしかないため、他の島には上陸できる海況でも御蔵島はダメ、ということが多々あります。出航の際はほぼ必ず「条件付き」になりますのでご了承ください。

条件付き：島に接岸できない場合、次の目的地の八丈島へ先に行き、復路で再度接岸を試みます。その際に万が一、船が目的地に着かなかった場合は「欠航」扱いとなり東京に戻ります（他の島で下船せず、同じ船でお戻りいただいた場合は全額返金となります）。

■お持ち物

＊お預かり器材は竹芝に持っていきます

＊島には小さな商店がありますが、あまり期待しないほうがいいです。必要なものはご持参ください。

ダイビングに必要なものに加えて・・・

- ・常備薬：思っている以上に島は僻地です。コンビニも薬局も一軒ありません。必ず常備薬などをご持参ください。
- ・服装：東京とおなじです。
- ・帽子やサングラス、日焼け止めをお持ちになることをお勧めします。

【食事について】

御蔵島は皆様が思っている以上に僻地でなーーーーんにもない島です。
コロナでただでさえ少なかった食堂がすべて閉業してしまいました。

「到着日の朝食」「島で飲むお酒やおつまみ」「テンションあがるおやつ」などはどこにも買うところがありませんので、東京であらかじめご購入下さい。

<到着日>

朝→各自ご準備ください

昼→お弁当

夜→お宿

<出発日>

朝 希望者の方にオニギリ2個セット（¥550）があります。

＊早朝ドルフィンは7:00～9:00になります。

朝食べられない方はイルカ終わってからゆっくりお弁当もあります。

昼→お弁当（11:30には届きます）

■滞在先：MITOMIさん

御蔵島は宿の手配ができないとイルカの予約ができないほど、宿が圧倒的に少ない島です。ご不便をおかけいたしますが一部屋同性3名でお泊りいただきます。

アメニティ：シャンプー・コンディショナー・ボディソープあり

利用する御蔵島の船長は、バリバリの御蔵島生まれ。以前は南伊豆の中木でガイドをしていた縁で今回もお世話になります。

■ドルフィンスイムのスタイル

御蔵島は120頭ほどのイルカたちが1年中住んでいます。オス中心のグループ、メス中心のグループに分かれ5頭～30頭位の群れで行動し、オスはある程度の年齢になると御蔵島から離れて行くようですが、メスのグループはそのほとんどが御蔵島で一生を過ごします。

【島でのドルフィンスイム：遭遇率はほぼ100%】

野生のイルカと遊ぶと言う厳密な意味では世界中でバハマと御蔵島しかできません。イルカたちは島から100m以内の沿岸で生活していますので、島の周りを船で探してイルカの姿を見つけたら海へ入るというスタイルです。10人乗り程度の小型ボートで、1行程は約2時間程度となります（土曜日に午前・午後の2回、日曜日早朝はご希望の方のみのオプション）

【ドルフィンスイムの流れ】

1：イルカを見つける（船首を12時、船尾6時、右舷真横3時、左舷真横9時・・・と覚えておきましょう）

2：3点セットをつける準備を素早くしながら船長の合図を待つ。

3：船長の合図で静かにエントリー（激しく入るとイルカが驚いて深く逃げます）

4：イルカに遊んでもらう。遊んでくれるイルカは向こうから近付いて来ます。

潜れる人はどんどん潜ってイルカと一緒にグルグル回ったりしましょう。水面で泳ぐだけでもたっぷり楽しめます。カメも見れるかもしれません。

5：船長の合図で帰船

マスクやフィンは付けたままエグジットすれば、後ろの人のエグジットも早くできて次のイルカを狙えます

・・・を何回も繰り返します（けっこうスポーツです）。1～5はイルカ次第で1分で終わったり30分遊んでくれたりします。

【イルカへの禁止事項】

イルカにも生活のリズムがあるので、遊び時間、休息中、食事中、移動中など、その時の気分で遊んでくれたり、ただ通り過ぎるだけだったりします。「逢えるだけでも実はすごい」ことを覚えておいてください。

- ・イルカにさわらない、さわろうとしない
- ・通り過ぎるイルカたちは、静かに見送る（特に子連れのイルカ）
- ・「グルグルと渦を巻くような形でからみ合っているイルカたち」に近づかない（興奮してます）
- ・カメラのストロボは脅かしてしまうので禁止
- ・デジタル音や人口音をイルカは嫌います。ダイコンも不要です。

【イルカが見つからない場合】

船長の合図はエントリーと帰船指示のみなので、海に入ったとたんはどうしていいかわからず、右往左往する人もいます。基本的には市ノ川やガイドさんについて来てください（鬼ダッシュのときがありません）。

また、追いかけた1頭にぶっちぎられても、すぐ後ろにもう一頭がついて来てる場合があります。見失ったらおちついてその場で360°回ってみてください。後ろにイルカがイルカも知れません。

【その他注意点】

- ・ 視界の中に必ずボートを（夢中になりすぎないように）
- ・ 船の後ろには近づかない（スクリューがあります）
- ・ うねりがある時は岸に近づきすぎない
- ・ カメラは落としたら拾えません。手首につけられるものをご用意ください
- ・ 船長、ガイドの指示に従った方が素晴らしい光景を見られます。

自分のレベル、体力の範囲内で楽しみましょう！ボート上でも十分にイルカを観察できますよ

ラフィンダイビングスクール

〒413-0234静岡県伊東市大室高原6-110 TEL&FAX:0557-51-8686